

カメラだより

刈谷での出来事を写真付きで紹介します。



気分は和菓子職人

歴史博物館(2月26日)



年齢問わず人気のあった講座、練り切りづくりが行われました。講師のデモンストレーションで作り方を学んだ後は、さまざまな種類の道具を使って個性あふれる和菓子を作っていました。

迷ったり失敗したりする中で、徐々に慣れていき、真剣に作業する様子は職人そのもの。最後は満足の出来栄えに親子で喜ぶ姿が見られました。

楽しく気軽にスポーツ

市体育館(3月4日)



ミニテニスなどのニュースポーツが体験できるスポーツふれあいday。初めて体験するスポーツに戸惑っている参加者も、スポーツ推進委員からアドバイスを受けたり、親子で協力しながら取り組んだりしてコツをつかみ、笑顔で汗を流しました。また、忍者ランドを体験した子どもたちは、網の下をくぐったり、高くジャンプして布にタッチしたり、全力で忍者になりきっていました。

旅立ちの日、新たな未来へ

刈谷南中学校(3月7日)



学校生活最後の日である卒業証書授与式。生徒たちは元気な声で返事をして証書を受け取りました。卒業生代表の森さんは、「つらい時や悩んだ時、先生や友達、家族の支えがあったからこそ乗り越えられた。思い出を胸に、これからも頑張りたい」と答辞を述べました。生徒たちは卒業の歌で目を潤ませながらも、これから始まる新生活に思いをはせているようでした。

まなびの楽しさを体験

総合文化センター(3月11日)



誰でも無料で参加できるイベント、刈谷まなびの広場。パステル手形アートやバルーンアート、組みひも体験などさまざまな講座が行われました。手形アートを受講した親子からは、「オリジナル作品ができてうれしい。記念に家で飾りたい」との声も。興味関心を広げ、楽しそうに受講する参加者の姿が見られました。